五つのテーマで中国大陸を見る

中国駐東京観光代表処 新しい旅のスタイル提案

特集第1弾

張掖七彩丹霞

中国大陸観光テーマ案内図

中国駐東京観光代表処は中国大陸全土の観光魅力を「癒やし」「大自然」「三国志」「癒やし」「西遊記」の五つのテーマで日本の消費者にアピールするほか、日中両国の友好と交流を深めるさまざまな事業を行う。この4月に日本で行った主な事業と、五つのテーマに沿った観光の魅力の一端を紹介する。

三国志

名将の足跡たどる旅
美味なる四川料理とともに

4月7、8日、東京の新宿中央公園で第2回「四川フェス」が開かれた。同フェス実行委員会などの主催、中国駐東京観光代表処などの特別協賛で、中国四大料理の一つ、四川料理を来場者に味わってもらった。

四川料理は中国西南部の四川省と、隣接する重慶市一帯に伝わる料理。麻婆豆腐、担担麺、麻辣火鍋が有名で、唐辛子と山椒の味付けによる、激辛だがクセになる味が日本人の口にも合う。

会場には日本国内はもとより地元四川からも腕利きのシェフが参集。22の名店が屋台形式で自慢の料理を振る舞った。

日本に四川料理を広め、「四川料理の父」と呼ばれる陳建民氏が創業した「赤坂四川飯店」、NHK朝の情報番組にレギュラー出演する井桁良樹氏がオーナーシェフの「中国菜 老四川 飄香 麻布十番本店」など、人気、実力ともに日本の中国料理シーンをけん引する名店がそろった。

ステージでは踊りながら瞬時に面を変える四川の伝統芸能「変面」の上演や、二胡の演奏、ANAで行く四川省往復チケットの抽選会も行われた。

昨年の第1回は1日で2万人を集客。今年は日程と規模を拡大し、2日間で5万人が来場した。

◇

中国駐東京観光代表処は、四川省、重慶市を中心とする中国南西部での「三国志の旅」を提案している。

魏、呉、蜀という三つの国が覇権を争った三国時代の物語「三国志」は、日本でも高い人気を誇る。

「赤壁の戦い」で知られる赤壁古戦場や、劉備と諸葛亮をまつる成都武候祠、「三顧の礼」の舞台、襄陽古隆中…。劉備、関羽、張飛、趙雲、曹操、諸葛亮、司馬昭など、名将の足跡をたどる旅を楽しみたい。

第2回四川フェスの模様

成都武候祠

●成都武候祠

蜀国を建国した皇帝・劉備や軍師・諸葛亮をまつる祠。中国で最も大きな三国遺跡博物館、三国志の聖地といわれる。

劉備らの像や、関連資料を展示する。

●白帝城

重慶から450㌔下った奉節県にある三峡下りの名所の一つ。劉備が後事を諸葛亮に託して亡くなったという古城。唐の時代の詩人・李白がこの地をうたった詩碑も残る。

癒やし

水辺でほっとひと息
"東洋のベニス"で運河巡り

中国駐東京観光代表処が中国南東部で勧めるのは「癒やしの旅」だ。

沿海の江蘇省を中心に、大中小の運河が縦横無尽に張り巡らされている。小舟での運河巡りや水辺の散策など、観光客は癒やしのひと時を過ごせる。

ここでは江蘇省屈指の観光都市、蘇州をクローズアップしよう。

蘇州は上海から西へおよそ90㌔にある江蘇省第一の都市で人口およそ1千万人。中国で川と橋が最も多い都市とされ、古くから「東の水の都」「東洋のベニス」と呼ばれてきた。

市内を流れる中国大運河と九つの古典庭園「蘇州古典園林」がユネスコの世界文化遺産に登録されている。

●蘇州古城河

蘇州の中心市街地を囲む運河。春秋時代の有名な軍事家・伍子胥によってつくられた。全長15・3㌔で、中国で最も古い運河の一つ。

運河の両岸には長い歴史の中で築かれたさまざまな建造物や史跡がある。

夜はライトアップされ、辺りは一段と美しい景色に。夜景を楽しみながら水辺のカフェでコーヒーを飲むのがここでのお勧めの過ごし方だ。

運河と古い街並み、古い橋を同時に眺める「山塘街」は、昼も夜も絶景で、外せない観光スポット。

山塘街

西遊記

シルクロード舞台に
三蔵法師の旅へ思い巡らす

敦煌鳴砂山月牙泉

甘粛省観光説明会が4月13日、ホテル椿山荘東京（東京都文京区）で開かれた。甘粛省最大の旅行関連企業、甘粛省公路航空旅遊投資集団有限責任公司の石培榮董事長ら代表団が来日。シルクロードのメインルートにある主な観光資源や、近年整備されている高速交通網など同省の最新の観光事情を日本の旅行会社、航空会社、メディアに説明した。

甘粛省はシルクロードのメインルート河西回廊が省内を貫き、敦煌莫高窟、嘉峪関、麦積山石窟、炳霊寺石窟、玉門関、懸泉置遺跡など、見るべき観光地が多い。

張掖丹霞地形、黄河三峡など、長い年月をかけてつくられた特異な地形、美しい自然にも恵まれている。

省内は高速道路と高速鉄道が開通するなど観光インフラが急速に整備されている。

道路上にはキャンプサイトが整備され、キャンピングカーでシルクロードを旅するなど、観光の新たな楽しみ方もできる。

◇

中国駐東京観光代表処が甘粛省など中国北西部で提案するのは「西遊記の旅」だ。

かつての都、長安（西安）と西域をつなぐシルクロードは物流の大動脈として、東西の幾多の人々が往来した。2014年はその一部が「シルクロード・長安―天山回廊の交易路網」として世界文化遺産に登録。現在、国の「一帯一路」構想でも注目を集めている。

西遊記はシルクロードを舞台に、唐の高僧玄奘三蔵（三蔵法師）が遠く天竺（インド）へ経典を求めて旅をする物語。中国四大奇書の一つとされ、日本でも古くから映像化されるほどの人気だ。延々と続く砂漠、道中に登場する神仏や妖怪、魔物…。幼少期に本や映像を見て、胸を躍らせた人も多いことだろう。

●敦煌莫高窟

大小494の洞窟に、4世紀から11世紀にかけての貴重な仏像や壁画が数多く安置、保存されている。1987年、世界文化遺産に登録された。最も有名な第96窟は、莫高窟で最大の高さ35・5㍍の仏像を安置。世界でも3番目の大きさという。

第17窟では4世紀からの文物約5万点が発見され、20世紀の大発見と世界を震撼させた。

●敦煌鳴砂山

東西40㌔、南北20㌔に及ぶ砂山の鳴砂山。ここでは砂漠の中をラクダで散策したり、砂山をそりで滑降するなど砂遊びが楽しめる。

砂漠の中には3千年以上も枯れずに水をたたえる三日月型の池、月牙泉がある。

大自然

手つかずの自然残る
神秘的な景色が人々を魅了

中国吉林省の観光説明会と日中両国参加者による座談会が4月10日、東京プリンスホテル（東京都港区）で行われた。中国駐東京観光代表処が主催。日本の主要旅行会社を招き、同省の観光資源・商品を説明するとともに、両国の相互交流促進に向けて意見交換した。

参加したのは中国側から吉林省の観光代表団10人と日本側から首都圏の主要旅行会社10人の計20人。

吉林省の宣伝映像の放映、参加者紹介に続き、吉林省旅游発展委員会の陳守君副主任が同省の観光の現状を説明。中国駐東京観光代表処の王偉首席代表が近年の中国からの訪日状況を説明した。

双方が参加した座談会では、中国と日本の双方向観光交流拡大に向けて、新たな市場開発、商品開発を行う上での問題点と、その解決策が語られた。

◇

中国駐東京観光代表処は、吉林省など中国・東北地方での「大自然の旅」を提案する。山、川、草原、雪原、森林と、手つかずの自然が残る同地での滞在は、日頃のストレス解消となるに違いない。

●長白山

中国（吉林省）と北朝鮮の国境に位置する標高2744㍍の山。

山全体が自然保護区になっており、春と夏には高山植物の花が咲き乱れる。トレッキングに最適で、良質の温泉も湧出している。

頂上には火山の噴火でできたカルデラ湖の天池がある。周囲15㌔で、水深は深いところで400㍍。稜線に囲まれた湖の風景が神秘的で、訪れた人々を魅了する。

東北地方随一の滝という長白瀑布も見どころの一つだ。

長白山天池

古文明

中華文明発祥の地
長城に新たなリゾートも

司馬台長城から古北水鎮を望む

中国の中原地区と呼ばれる北京、河北など七つの省と都市を中心に、中国駐東京観光代表処は「古文明」をテーマとした旅を提案する。

中原とは黄河の中流と下流地域の平原で、中華文明発祥の地といわれる。中国の古代文明遺跡や文物が集中する場所で、故宮、万里の長城など、17もの世界遺産がある。洛陽、開封、安陽、大同など古都が集中し、現代中国の起源をここで見いだせる。

●古北水鎮

近年、北京近郊で新たなリゾート開発が行われ、話題になっている。万里の長城の中で観光地化されている場所の一つ、「司馬台長城」の麓にある「古北水鎮」だ。

東京ドーム10個分という広大な敷地内に、明清時代の伝統的中国建築の街並みが再現されている。酒蔵や染物工房など中国の伝統的な産業を紹介する建物や、レストラン、工芸品を販売するみやげ店、民家を模した民宿が水辺に軒を連ねる。

司馬台長城の山上までロープウエーで7分。黄昏時は古鎮全体にライトが灯り、ムード満点の景色を鑑賞できる。

少し足を延ばして河北省承徳の世界遺産、中国最大の皇室庭園「避暑山荘」と、小ポタラ宮と称される「外八廟」も訪れたい。

モデルコース　古北水鎮と承徳と万里の長城　4日間

	都市名	交通機関	スケジュール
①	成田・羽田 北京	航空機 専用車	空路、北京へ 着後、専用車にてホテルへ 朝：×　昼：×　夕：機内食　宿泊：北京
②	北京 古北水鎮	専用車	【世界遺産：万里の長城観光】 ホテル発　専用車にて古北水鎮へ（約3時間） 昼食後、古鎮を見下ろす司馬台長城をロープウエーでご案内 その後、古北水鎮散策 ◎酒蔵、染物工房、足湯体験等、情緒あふれる街並み散策をお楽しみ下さい その後、チェックイン。夕食後、ライトアップされた夜景散策をお楽しみ下さい 昼食：郷土料理　夕食：郷土料理 朝：○　昼：○　夕：○　宿泊：古北水鎮
③	古北水鎮 承徳 古北水鎮	専用車	【世界遺産：承徳日帰り観光】 ◎中国皇帝の離宮避暑山荘、小ポタラと称される外八廟、古刹普寧寺等 （承徳では、専用のカートでご案内） その後、古北水鎮へ 昼食：精進料理　夕食：郷土料理 朝：○　昼：○　夕：○　宿泊：古北水鎮
④	北京 成田・羽田	専用車 航空機	空路、成田・羽田へ　＊朝食はホテルまたはお弁当 （午後）成田・羽田到着 朝：○　昼：機内食　夕：×

お問い合わせ　中国駐東京観光代表処

cnta.tokyo@gmail.com

TEL03−3591−8686　FAX03−3591−6886